北九州プロバスクラブ月報

つながり

会員数 １９人

No. 218
令和６年８月号
2024. 8. 20

７月定時総会・例会報告

7 月 16 日 12 時から眞鍋会員の指導でストレッチ体操を行い、すぐ会食。

13 時から定時総会の始まり、松本幹事長の進行でまず、議長として柴村会員を選出し、会員 20 名中 19 名出席で総会が成立したことを報告。以後、柴村議長の進行により第 1 号議案「令和 5 年度事業報告」は植田会長が説明し、拍手多数で承認された。第 2 号議案「令和 5 年度収支決算報告」は会計の藤原会員が説明し、監査結果報告の日付についてご指摘いただいたが、拍手をもって議案の承認を得た。第 3 号議案「令和 6 年度事業計画」は会長が説明し、25 周年事業に関する質疑があったが、拍手多数で承認を受けた。第4号議案「令和 6 年度収支予算(案)」を藤原会員が説明、次年度 5 名の会員増を目指すことで承認を得た。しかし「会報 Link」の毎年発行に対しては今後検討するご意見もいただいた。

第 5 号議案「役員選考(案)」は会長から新会則により事務局長は遠藤会員、交流委員長は吉田秀子会員が引き続き任期を務めることを提案、会員の承認を得た。第 6 号議案「例会、役員会に関する細則(改正案)」は松本幹事長が新旧対照表を使って説明。各委員会で新人対応が削られている、ありがとう BOX の対象団体の検討はどこでされるのか等意見が出たが、賛成多数で承認された。

第 7 号議案「会員意見交換会実施要領(改正案)」、第 8 号議案の「新入会に当たっての手順(改正案)」を松本幹事長が説明、各々賛成多数で承認を得た。

続いて新会則第 11 条による顧問の推薦がなされた。長く当プロバスクラブに貢献され、全国協議会の会長も務められた古賀会員を顧問に推薦する旨の提案は、会員の拍手で承認された。これを以って柴村会員の議長解任、お疲れ様でした。

終りに令和 5 年度の例会に皆勤された 15 名に、皆勤賞と副賞が植田会長から手渡された。その後全員集合の写真撮影が行われ定時総会は終了となった。

引き続き例会では「同好会の魅力報告」の会員卓話が準備されていたが、定時総会の時間オーバーで中止となった。非常に残念であった。委員会報告、同好会報告及びお誘いが行われ、遠藤会員のリードで「プロバスクラブの歌」を歌い、散会となった。(内藤)

委 員 会 報 告

企画委員会

8月6日　6名出席

9月例会卓話は、93歳の吉田信雄さんと89歳の古賀靖子さんによるグランド・シニアのいきいき対談「健康管理について」で、会場からの質問も受けて全員対話型としたいのでご協力を。10月の卓話は、最近AI（人工知能）によって時代が大きく振り回されているので、「人工知能により第4次産業革命進む」（仮）と題して元朝日新聞地方版編集長舩木邦彦さんにグローバルな視点での話を伺う予定。

また、今年度から新たな役割を担うこととなった「同好会サポート」などについて意見交換をした。なお、7 月末に退会した大石副委員長の後任には安河内会員が就任、山下静江会員がサポートすることに決まった。（松本）

交流委員会

開催日がお盆と重なったため、日程を変更。9 月号で報告します。

広報委員会

8 月 12 日　4 名出席

諸般の事情で開催日を 1 週間伸ばし、盆前でもあったためか少数精鋭?の会議となってしまいました。質量とも満足のランチを食べて準備は万全。早速「つながり 9 月号」の編集会議に入ります。卓話等の原稿書き、写真担当の確認を行ったのですが、夏枯れか記事量の少なさが気がかりです。会員の皆さんの投稿をお願いしたいところです。

続いて 25 周年記念会報「Link25 号」の進捗状況や 9 月例会時に行う随想の会員校正等についても話し合い、終わりに「つながり 8 月号」の校正をみっちり行い、極暑の町へ各々が散って行きました。（内藤）

小倉駅周辺クリーンキャンペーンに参加

8 月 7 日午前 10 時から、暑い日が続いていたので参加者は少ないだろうと思って参加しましたが、自治会や企業、その他のボランティア団体の方々が多数（200 名以上）参加されていました。実行委員長の肝付会長や武内市長の挨拶の後、30 分位で切り上げるようにとの指示がありました。私もいつもの場所に行きましたがゴミはあまりありませんが、路地脇の雑草を袋いっぱい取って、集積場所の米町公園まで持って行き、お茶とタオルをもらい早々に家に帰りました。

（柴村）

同 好 会 報 告

写 友 会

（7 月例会会場での展示）

茶道クラブ「菜の花」

7月 27 日 12 時から 9 名が古賀会員宅に集まる。お弁当の昼食をいただき一息ついて、お茶室に入りました。みんな高齢のため、正座することが困難になったので、古賀講師が立礼のしつらえを準備され、椅子に掛けてお稽古が出来るようになりました。先ず、講師に薄茶点前のお手本を示してもらい、お菓子・お薄のいただき方も教わりながら、皆さん真面目（？）にお稽古をしました。終わったらいつもの様に、リビングでコーヒーを飲みながらおしゃべりして楽しく過ごしました。（柴村）

日本酒の会

7 月30日 18 時から第37回目の日本酒の会を開催しました。藤原世話役が下見をして探してきた新しい店が、黒船・魚町店でした。7名の参加で、焼き鳥などをつまみに飲みました。先ずは高知の「酔鯨」でなめらかな、しっとりした味の辛口でした。続いて秋田の「ゆきの美人」、これは大辛口で、ピリリとした味でした。三杯目は久留米の「庭のうぐいす」、さわやかな旨口でした。猛暑の中での会でしたが、皆さん元気はつらつで飲みっぷりがよくてたのもしい限りでした。（新城）

食 美 会

7 月 11 日 12 時から 7 名の出席です。井筒屋の川淀に鰻を求めていきました。男性 1 名と女性 6 名。お腹いっぱいと言いながら元気になったせいか、甘いものを求めて二次会へ。

話題がお産の話からお墓の話まで、つまり生から死までの幅広いものになりました。男性曰く、「それで女性は長生きするのだ」と、感心されていました。おいしい食事と楽しい話にと、有意義な食美会でした。（吉田秀子）

歌をうたう会

35℃前後の命に係わる猛暑日が続いている予報に、今日は天候の急変を報じていたが、それが的中した。出向いたときは太陽燦々、レッスン開始頃は突如の雨、雷雨と驚きの7月 26 日午後 3 時からレッスンを行った。出席者は講師の植田会員、会員 4 名。今日は喉慣らしからはじめ、いずれの場合でも歌い始めは、3 拍の吸気をすると自然な出だしとなることを教わった。歌は、出だしが非常に難しいが、今後は実践してみよう。8 月例会の「暑気払い」で披露する「故郷を離るる歌」「旅愁」「故郷の廃家」を中心に練習、最後は 11 月市民センター文化祭で歌う二部合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」の中 2 曲をレッスンした。（古賀）

贅沢な日々

ミニ随筆

No.89　　安高洋一

目が見えず、音も聞こえない人の障害を盲ろう者と呼ぶそうだ。ある暑い朝、外へ出かける気力もなく、居間でクーラーをかけ、女房と録画していたテレビ番組をみていた。その一つに盲ろう者の特集があった。小学生の時、視力を失い、その後耳にも障害が発生したという。その彼は東大准教授で、バリアフリーの世界をめざしている。

彼が自身の体験を話すために小学校を訪れた。児童たちが２人１組で、１人は目隠しとヘッドフォンをつけ、もう１人が介助者となって、階段をおりて飲み物を取りに行くという内容。「怖かった」とほとんどの児童が感じた。さらに給食時間には無言で食べることを体験させた。彼は介助者が点字タイプライターで文字を打つように、その指を手のこうに押してもらい、他の人と会話していた。児童たちから何が一番怖かったかという質問に「相手の表情も読めず、コミュニケーションがとれないことだ」と答えた。私は衰えたとはいえ、目も、耳も一応正常だ、なんと贅沢な環境なんだ、と思った。

ありがとうBOXメッセージ７月分　　（入会順、敬称略）

★梅雨明けが待ち遠しいです（遠藤）　★今日も会員の方に助けられました（神田）　★梅雨らしくない日々。気力向上（大川）　★新年度からも宜しくお願いします（古賀）　★今日も元気！！（吉田秀子）　★（松本）　★（植田）　★（眞鍋）　★梅雨も明ければ猛暑が来るよ（吉田信雄）　★（安高）　★8 月猛暑を乗り越えましょう（橋本）　★なんとか議長の大任が終わりホッとしました（柴村）　★新会計年度に入りました。頑張ります（藤原）　★（大石）　★定時総会おつかれ様でした（山下静江）

収支報告	令和６年６月末残高	167,187円
	令和６年７月分	7,500円
	令和６年７月末残高	174,687円

同好会会員急募! 歴史文学講座

令和4年に12名いた会員が現在、7名にまで減ってしまったが、何とか工夫しながら松本清張記念館館で活動を継続している。

1月には、北九州の歴史を記録・保存する運動を進めている小倉郷土会の副会長轟良子さんに活動内容等を話していただいた。3月には若松の芥川賞作家火野葦平の旧居河伯洞等の見学、映画「花と龍」の鑑賞など文学散歩を楽しんだ。4 月からは史学博士廣崎篤夫先生による「戦国動乱の北九州」5回シリーズを偶数月に開催中だ。

会員減で悩みの種は講師謝礼金の確保。外部からの聴講者を募って毎回千円ずつ徴収、開催日を隔月にするなどして資金不足を補っているのだが……。（松本）